



# 玉北小だより

かしこく  
やさしく  
たくましく

小美玉市立玉里北小学校  
平成29年5月10日  
No. 6

## ありがとうございました 自由参観 第2回PTA評議委員会及び専門委員会 5月2日(火)

本校では、授業参観とは別に、年間5回の自由参観を予定しています。お子さんのふだんの授業の様子や友達とのかかわりの様子などをご覧いただき、ご家庭での共通の話題やお子さんをほめる機会にさせていただければと思います。

なお、自由参観の日に、保護者の方と担任が話す時間を設定することができません。ご理解の上、ご協力をお願いいたします。  
急な連絡やご相談等につきましては、どうぞ職員室にお立ち寄りください。教頭(園部先生)や教務主任(塚本先生)がお伺いいたします。  
なお、お子様の身体のことでご心配の場合には、養護教諭(富田先生)に遠慮なくお声かけください。



第2回PTA評議委員会及び専門委員会では、年間の活動や運動会の親子種目、親子レク等についてご協議いただきました。委員長さんを中心に委員の皆様が連携・分担され進めてくださっていることに感謝申し上げます。子供たちの健全育成のためにお世話になります。

教頭先生と私で、毎日、校舎内外の巡視をします。特に園部教頭先生は、朝や帰りにも、校舎の外回りに危険はないか、昨日までとの変化はないかなど、丁寧に見て回り、すぐに対応してくれています。

右の写真は、校内を見て歩いていた時の3年生の教室の風景です。そのとき3年生は、体育館で運動会の練習をしていました。体育館に行く前に、だれもが机、椅子を整頓していったのでしょうか。あまりにきれいに整頓されていたので、思わず写真に撮りました。



3年生の教室(5月1日撮影)

簡単なようではなかなかできないこと、当たり前のようにできなかなかないことがある中、それができている本校の子供たちに感心しています。きっと習慣にするためには、担任(本間先生)の声かけやほめる言葉が積み重なっているのでしょう。

大人だって認められたらうれしいものです。子供ならなおのこと。がんばっていることをほめてあげたいと改めて感じた風景でした。

### 職員室の風景

5月4日(木)茨城新聞「いばらき春秋」に次のような掲載(一部抜粋)がありました。「ゴールデンウィークも後半に入った。思い思いに休日を満喫している人も多いだろう。気になるのは学校の先生たちだ。文部科学省の2016年度調査によると中学校で57.7%の教諭が、『過労死ライン』を上回る残業をしている実態が浮かび上がった。(中略)学校現場でも『働き方改革』が急務と言えそうだ。」

本校の教職員にゴールデンウィークを聞くと、「一日は学校で仕事をしました」「日頃できずにたまっていた家のことをしました」「一日は家族で出かけることができました」「出張に持参するレポートをつくりました」など、家族での時間も過ごしながらも、仕事を…。

しかし、いつもより家族で過ごすことができた、家のことができたという教職員も多く、校長として少しほっとしています。この背景に「先生方、ご自宅が遠いんですから、花壇の水かけはやりますよ。」と言ってくださったPTA会長小山田さんのことばがあります。小山田さんご家族に、連休中の花壇の管理を甘えてしまいました。その分、いつも以上に家族で過ごすことができた・家のことができたという本校教職員でした。小山田さんご家族に感謝申し上げます。

教職員の元気があってこそ、学校の元気です。本校の働き方についても、今後話し合っていきます。

